

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	企画展等開催事業	コード	111117
-------	----------	-----	--------

2 担当部課	部等 産業振興部	課等 ブランド推進室	作成者 小林 隆
--------	----------	------------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	文化・スポーツの振興	施策	文化・芸術の振興
		予算科目	企画展等開催事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	魅力ある企画展及び収蔵品展の開催により、集客力を高めるとともに、シルク文化の歴史や文化について発信する。	
目的	対象者	市民及び来館者
	意図	蚕糸業の歴史の伝承、郷土愛の醸成、市民の文化芸術の振興、シルクおかやの発信

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
<p>○19世紀ヨーロッパのドレス～モードとシルク～ H29/5/25～7/23（52日間）5,477名 105名/日</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会&ギャラリートーク 5/27 参加者：30名 「クリノリン・スタイルのスカートを着てみよう」 6/24～7/16（土日）参加者：計52名 <p>○岡谷市観光大使 市川笑野監修 歌舞伎衣裳展 ～伝統芸能を支える絹～ H29/7/27～10/22（75日間）8,353名 111名/日</p> <ul style="list-style-type: none"> 市川笑野トークイベント 7/30 参加者：50名 <p>○糸を組む～あなたの知らない組紐の世界～ H29/10/26～H30/1/21（70日間）10,177名 145名/日</p> <ul style="list-style-type: none"> 有職組紐 道明 道明三保子氏 トークイベント H29/11/11 参加者：46人 本格派！『初めての組紐 -ストラップをつくる-』 H29/11/12 参加者：合計30人 かんたん！くみひも体験 H29/12/2 H30/1/7 参加者：合計57人 <p>○鍋、語る。～繭を煮て、糸を取る～ H30/1/25～4/15（56日間）5,000人（～3/31）89名/日</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演会・ギャラリートーク 「鍋、語る。」辰野美術館学芸員 赤羽義洋氏 橋本多美雄氏 H30/2/11 参加者：65名 初体験！自分で鍋で繭を煮て、わたしだけのランプシェードづくり H30/2/24 参加者：24名 初体験！製糸工場の繰糸釜で糸取り体験！ H30/3/10 参加者：8名 		
前年度の課題への対応	企画展にあわせ、ワークショップ等の関連イベントを開催した。	

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	企画展、収蔵品展の開催日数			単位	日
実績値	279	334	253		
*指標の説明	企画展、収蔵品展の開催日数				
② 成果指標（指標名）	1日当りの入館者数			単位	人
目標値	100	100	100	100	
実績値	157	131	114		
達成度	157.0%	131.0%	114.0%		
*指標の説明	企画展、収蔵品展会期中の1日当りの入館者数				
*目標値の設定方法の説明	入館者推計の目標値における1日当りの入館者数				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	3,645,726	3,214,903	3,082,261	3,191,000
経常経費	492,611	407,314	3,082,261	3,191,000
臨時的経費	3,153,115	2,807,589	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	11,645,726	11,214,903	11,082,261	11,191,000
前年度比		96.3%	98.8%	101.0%
財源	11,645,726	11,214,903	11,082,261	11,191,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	30,439	25,172	43,803	
前年度比		82.7%	174.0%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	87.0%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	114.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	・シルクに直接関心がない方々を引き付ける内容の企画展の開催。	
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	・最近の流行やシルク産業の状況、最新の研究事情を情報収集し、時代にあった企画展を開催する。	
改善開始時期	平成30年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	30年度より他の事務事業と統合	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	-----------------	---	---